

令和4年度 第19回

「家族のきずな」

エッセイ集



文部科学省
生理学部のマスコット
「マナビィ」



公益財団法人

モロロジー道徳教育財団

共 催：麗澤大学／麗澤中学・高等学校

後 援：千葉県／千葉県教育委員会／柏市／柏市教育委員会／我孫子市教育委員会／鎌ヶ谷市教育委員会／流山市教育委員会
野田市教育委員会／松戸市教育委員会／柏市PTA連絡協議会／株式会社ジェイコム千葉 東関東局

「人づくり」による「国づくり」を モラロジー教育では「3つの心」を育てます。

「思いやりの心」

相手の立場に立って考えることのできる思いやりの心は、人の喜びや悲しみ・痛みへの共感性をはぐくみます。そして、自分を反省したり、相手を許す謙虚さや周囲に奉仕する深いやさしさを育てます。

「感謝の心」

大自然の恵み、また家庭や国の恩恵などに対する感謝の心は、自分の命はもちろん、あらゆる命を大切に尊厳性をはぐくみます。そして、恩返しをしたり社会や世界に貢献していく勇気を育てます。

「自立の心」

夢や志に向かって、主体性を持って生きようとする自立の心は、家庭人、社会人、また国民としての責任感や使命感をはぐくみます。そして、地域や国際社会に目を向けていくたくましさを育てます。

モラロジーとは

モラロジー (moralogy) は、「道徳」を表すモラル (moral) と「学」を表すロジー (logy) からなる学術名で、「道徳科学」を意味します。日本はもとより世界の倫理道徳の研究をはじめ、人間、社会、自然のあらゆる領域を考察し、人間がよりよく生きるための指針を探求し提示することを目的とした科学「総合人間学」です。

公益財団法人モラロジー道徳教育財団

モラロジー道徳教育財団は、倫理道徳の研究と社会教育を推進する研究教育団体です。大正 15 (1926) 年の創立以来、「道徳で人と社会を幸せに」という指針のもと社会における諸課題の道徳的解決に資する研究・教育・出版・福祉事業を展開しています。また、日常の活動を通じて SDGs (持続可能な開発目標) の達成に向けて取り組んでいます。

令和4度 第19回 「家族のきずな」エッセイ集



目次

2 ごあいさつ 公益財団法人
モラロジー道德教育財団 理事長 廣池 幹堂

3 講 評 選考委員長
柏市小中学校校長会 会長 高橋 一夫

4 入賞・入選作品一覧

6 ご応募いただいた小学校

7 入賞作品

15 入選作品



いあいさつ

公益財団法人モラロジー道德教育財団 理事長

ひろいけ
廣池 もとたか
幹堂

はじめに、コロナ禍という困難の中、日夜対応に尽力されている医療関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

モラロジー道德教育財団では、千葉県、千葉県教育委員会、柏市、東葛六市（柏、我孫子、鎌ヶ谷、流山、野田、松戸）の各教育委員会、ならびに柏市PTA連絡協議会、ジェイコム千葉東関東局よりご後援をいただき、今年度で第十九回目となる「家族のきずなエッセイ」募集を行いました。

小学校五年生を対象とし、東葛六市の教育委員会のご協力のもと各小学校に募集を呼びかけましたところ、二千二十三編のエッセイが寄せられました。本冊子には、その中から厳正なる審査によって選ばれた入賞（千葉県知事賞ほか）八編、入選四十二編を掲載しております。

たくさんの児童より寄せられたエッセイは、家族

との心の交流や感謝の心、祖先を思う心、いのちのつながりと大切さなどが素直に表現されていて、どの作品もすばらしく、感動的なものばかりです。ご応募いただいた児童、募集にご協力をいただいた各学校と先生方、ならびに原稿の審査にご尽力を賜りました選考委員の皆様、各団体、協賛企業をはじめとする関係各位にも深く感謝を申し上げます。

数年来のコロナ禍により国民生活は大変な影響を受けました。しかし、いかなる時代となりましたも、家庭は教育の原点です。家族・親・祖先とのつながりを感じる時、子供たちは喜びと生きる力を得ることができます。

このエッセイ募集事業と本冊子に掲載された心温まる作品が少しでも「家族のきずな」を強め、家庭、学校、地域社会が一体となって子供たちの心を育てる機会の一助となれば、まことに幸いに存じます。

講評

選考委員長
柏市小中学校校長会 会長

高橋 一夫 たかはし かずお

今年も多くの皆さんから「家族のきずなエッセイ」を寄せていただきました。それぞれの家庭や家族の普段の暮らしの中にある愛情や思いやり、突然の出来事をきっかけに気付いた家族の気持ちや感謝の気持ちなどが自分の言葉で素直に生き生きと綴られていてとても温かい気持ちになりました。

ここ数年、新型コロナウイルスの影響で生活様式が大きく変わり、家族との過ごし方にも変化が見られるようになりました。全国の小学生も、改めて家族のありがたさやきずなに触れる機会が増えているのではないのでしょうか。家族と毎日話し、時には勉強したり遊んだりと一緒に過ごす時間が多い今だからこそ、普段なかなか言葉にできない家族への「ありがとう」の気持ちを作文にしたためたものと思います。寄せられた作品の中には祖母から教わった料理の体験談を書いている作品もありました。途切れることなく「家族のきずな」が繋がっているということを思わずにはいられませんでした。

結びに、素敵なエッセイを寄せてくださった皆様に感謝申し上げます。そして、相手の気持ちを素直に受け止められる感受性と優しい思いやりに溢れたお子さまを育てていらっしゃるそれぞれのご家族に心から敬意を表します。

最終選考委員

- | | | |
|--------|--------|-----------------------|
| 選考委員長 | 高橋 一夫 | 柏市小中学校校長会 会長 |
| 副選考委員長 | 川原 容一 | 元柏市立光ヶ丘小学校 校長 |
| 選考委員 | 太田 真子 | 柏市教育委員会 学校教育部指導課 指導主事 |
| | 佐野 あゆみ | 柏市教育委員会 学校教育部指導課 指導主事 |
| | 植田 和宏 | (株)ジェイコム千葉 東関東局 局長 |
| | 川久保 剛 | 麗澤大学 外国語学部 教授 |
| | 川部 翔 | 麗澤中学高等学校 教諭 |
| | 中澤 史隆 | モラロジー道徳教育財団 広報出版局 局長 |
| | 富田 裕之 | モラロジー道徳教育財団 出版部 部長 |

令和4年度 第19回「家族のきずな」エッセイ

入賞・入選作品一覧

◆千葉県知事賞
強いきずなで結ばれた応援団

柏市立柏第一小学校 5年
せき くち ゆい こ
関 口 結 子

◆柏市長賞
私のお兄ちゃん

柏市立松葉第一小学校 5年
たて ひ な た
楯 陽 葵

◆柏市教育長賞
私と祖母と家族

柏市立十余二小学校 5年
なか むら さ な
仲 村 紗 那

◆柏市小中学校校長会会長賞
思い出の宝箱

柏市立光ヶ丘小学校 5年
しも いけ あん な
下 池 杏 奈

◆柏市PTA連絡協議会賞
家族の支えによる食物アレルギーのこくふく

柏市立柏第三小学校 5年
なか むら けん と
中 村 建 斗

◆ジェイコム賞
変わらないもの

柏市立柏第一小学校 5年
う なみ さく ら
宇 波 咲 良

◆麗澤大学賞
口うるさいおばあちゃん

我孫子市立布佐小学校 5年
よし だ しゅんたろう
吉 田 粹太稜

◆モラロジー道德教育財団賞
私の背中をおしてくれた言葉

流山市立八木北小学校 5年
かわ しま し おり
川 島 汐 織

入 選

★掲載順=氏名50音順

| | | |
|----------|---------------|---------|
| 家族と命 | 流山市立長崎小学校 5年 | 石 黒 彩 花 |
| 私のおばあちゃん | 野田市立北部小学校 5年 | 磯 部 楓 朱 |
| 当たり前の幸せ | 松戸市立松ヶ丘小学校 5年 | 梅 木 希 夢 |
| リベンジ | 柏市立松葉第一小学校 5年 | 江 原 美 晴 |

| | | |
|-----------------|----------------|--------|
| 私のお父さん | 鎌ケ谷市立五本松小学校 5年 | 太田 愛怜菜 |
| 心をついに | 流山市立八木北小学校 5年 | 大瀧 友翔 |
| 家族の笑顔 | 柏市立光ヶ丘小学校 5年 | 岡田 桧依 |
| 私は小さいお母さん | 松戸市立松ヶ丘小学校 5年 | 奥村 美咲 |
| 行ってきます | 鎌ケ谷市立西部小学校 5年 | 小倉 美柚 |
| 遠い家族 | 柏市立十余二小学校 5年 | 楮山 萌夢 |
| 妹といっしょに | 柏市立松葉第一小学校 5年 | 角谷 政太郎 |
| ありがとう | 柏市立中原小学校 5年 | 川上 楓花 |
| 五月人形に込められた思い | 柏市立柏第三小学校 5年 | 北村 陽向 |
| 私と姉 | 野田市立南部小学校 5年 | 境 颯斗 |
| 家族への感しゃ | 松戸市立柿ノ木台小学校 5年 | 佐藤 瑠奈 |
| おばあちゃんの家 | 柏市立柏第三小学校 5年 | 塩澤 琉璃 |
| お母さんの愛情に気づいた時 | 野田市立北部小学校 5年 | 杉浦 結菜 |
| 大切な弟 | 柏市立松葉第一小学校 5年 | 鈴木 真啓 |
| 家族と私 | 野田市立南部小学校 5年 | 鈴木 結実 |
| 無くなってから気づいたこと | 松戸市立小金小学校 5年 | 高橋 すず |
| 特別な日々 | 流山市立長崎小学校 5年 | 高橋 美羽 |
| 私が前に進める理由 | 松戸市立小金小学校 5年 | 田口 結理 |
| やさしい小づつみ | 鎌ケ谷市立西部小学校 5年 | 田中 愛子 |
| 家族のありがたさ | 柏市立柏第三小学校 5年 | 田中 悠月 |
| お父さんへの感謝の気持ち | 柏市立松葉第一小学校 5年 | 堤 理帆 |
| あたたかい家族 | 松戸市立小金小学校 5年 | 飛田 來未 |
| 自分にできる事 | 柏市立松葉第一小学校 5年 | 中西 梨緒 |
| 家族から受けつがれたたまご焼き | 柏市立柏第三小学校 5年 | 中野 咲良 |
| 私たちの家族 | 鎌ケ谷市立南部小学校 5年 | 中野 寧々 |
| わたしの夢 | 柏市立光ヶ丘小学校 5年 | 丹羽 茜 |
| 家族のはげまし | 松戸市立柿ノ木台小学校 5年 | 橋沼 龍 |
| ぼくのお父さん | 鎌ケ谷市立西部小学校 5年 | 橋本 陸翔 |
| わすれられない言葉 | 柏市立光ヶ丘小学校 5年 | 林田 悠聖 |
| 母とくらす時間 | 柏市立柏第一小学校 5年 | 藤田 心音 |
| 家族のつながり | 野田市立南部小学校 5年 | 保登田 眺英 |
| 私の命 | 野田市立山崎小学校 5年 | 本間 菜南子 |
| 「いいね！」は魔法の言葉 | 柏市立松葉第一小学校 5年 | 松枝 怜 |
| 家族の大切さ | 柏市立柏第三小学校 5年 | 三浦 美葵 |
| 少しずつ前へ | 松戸市立柿ノ木台小学校 5年 | 武藤 結香 |
| 家族への感謝の気持ち | 松戸市立柿ノ木台小学校 5年 | 山本 翠 |
| ほこほこ、あったかい | 柏市立光ヶ丘小学校 5年 | 吉澤 詩子 |
| 団結した日 | 柏市立柏第三小学校 5年 | 脇山 晴 |

ご応募いただいた小学校

★掲載順=50音順

柏市 (11校)

柏市立 風早北部小学校
柏第一小学校
柏第三小学校
柏第七小学校
手賀東小学校
十余二小学校
中原小学校
花野井小学校
光ヶ丘小学校
増尾西小学校
松葉第一小学校

鎌ヶ谷市 (5校)

鎌ヶ谷市立 五本松小学校
東部小学校
西部小学校
道野辺小学校
南部小学校

流山市 (7校)

流山市立 おおぐろの森小学校
小山小学校
長崎小学校
流山北小学校
東深井小学校
八木北小学校
八木南小学校

我孫子市 (4校)

我孫子市立 我孫子第一小学校
湖北台西小学校
布佐小学校
布佐南小学校

野田市 (5校)

野田市立 清水台小学校
中央小学校
南部小学校
北部小学校
山崎小学校

松戸市 (7校)

松戸市立 柿ノ木台小学校
河原塚小学校
栗ヶ沢小学校
小金小学校
高木第二小学校
松ヶ丘小学校
梨香台小学校

エッセイ応募総数
2,023編

応募小学校総数
38校

最優秀賞作品

千葉県知事賞

強いきずなで結ばれた応援団

柏市立柏第一小学校

五年

関口 結子 せきぐち ゆいこ

「応援団がたくさんいて、心強いね。」

私の主治医の先生は、よく、そんな言葉を口にします。それは、私がきん急入院をしたときなどに、おどろくような速さで両親や祖父母、大叔母までもが私のもとに集合するからだ。それは家族の強いきずなを感じる瞬間である。

生まれつき病気がある私は、車椅子に乗っている。でも、一度も「かわいそう。」「これができない。」などと思つたことがない。それは、マイナスをプラスに変えてくれる家族がいるからだ。家族は、どんなにささいなことでも、よいきっかけや成長の可能性として見いだして、大切にしながら応援し、学校や習い事など私がやりたいことを優先してできるように力をつくしてくれる。だから、私は今のままでいることを悲しく思つたことはない。

今は応援されている私も、いつかは応援団の一員として家族や大切な人のためにせいっぱい力になりたい。どんなときも支えあつていく。それが強いきずなで結ばれた家族だ。

柏市長賞

私のお兄ちゃん

柏市立松葉第一小学校 五年

榎陽葵 たて ひなた

私には、二つ上にお兄ちゃんがいます。お兄ちゃんは、小学校の六年間、特別支えん学級の、なかよし学級にいました。

なかよし学級では、お手伝いなどのお仕事をするとき、お給料がもらえるそうです。そして、そのお給料をためて、三学期の最後に、お買物のイベントをするそうです。

私が一年生するとき、そのイベントがうらやましくて、やってみたいなと思っていました。できないのはわかっていたけれど。

お買物のイベントがあった日、お兄ちゃんが、かけよってきて言いました。「見て見て！ これと、これと、これと、これと…ひなたの！ ほくのは、これ。」

たくさんお土産をくれました。自分のは一つだけ。すごくびっくりしました。でも、お兄ちゃんがすごくやさしいなと思って、うれしかったのを覚えています。そのお土産は、今も大切にしています。私も、お兄ちゃんみたいに、やさしい人になりたいです。

柏市教育長賞

私と祖母と家族

柏市立十余二小学校

五年

仲村 紗那 なかむら さな

二月の寒い朝、私は、起きてすぐに父から

「ばあちゃんがいなくなつて、ママは外で捜している。」

と聞かされた。私はすごく心配になった。祖母は最近、少し「変」だったからだ。初めは料理の味付けが違っていたり、鍵を閉め忘れたりするようなささいなことだったが、だんだんひどくなり、買ったばかりの服で生ゴミを包んで捨てようとしていたり、家族の名前が分からなくなつてしまつたりする時があった。しばらくして、祖母は

「散歩に行つてきた。」

と言ひ、帰つてきた。無事を知つた母は泣いていた。

今、祖母はデイサービスや病院に通ひ、症状が落ちつき、以前の穏やかな祖母に戻つてゐる。母も仕事に行けるようになった。

私は祖母といふ時間が一番長いので、たくさん声かけをすること、お手伝いすることを心がけている。共働きの我が家は、祖母にたくさん手伝つてもらつてきた。今度は家族みんなで祖母を支え、祖母が楽しく暮らせるようにしたい。

柏市小中学校校長会会長賞

思ひ手の宝箱

柏市立光ヶ丘小学校 五年

下池 杏奈 しらいけ あんな

私は、昔からお母さんが大好きで、毎日手紙をあげていました。お母さんに手紙をあげるたびに「ありがとう！」といって、ハグをしてくれるのがうれしくてたまらなかったのであげていました。

でもある日こんな事を考えました。「お母さんにあげた手紙はどこにあるんだろう。まさかすてられているのかな。」そんなことを思い続けていたところ、ある日昔の箱がお母さんの引き出しから出てきて、「なんだろう。」と見てみると、あふれるほどの昔の手紙が出てきました。それは全て私があげたようち園のときの手紙や母の日の手紙、色々な思い出がつまっている手紙でいっぱいでした。お母さんにあげた手紙は、「大事にほかんしといってくれてたんだな。」と、ありがとうの気持ちでいっぱいになりました。なのでいまでも感謝の手紙をいっぱいあげています。もちろん、家族にも、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも家族を大切にしようと思いました。

柏市PTA連絡協議会賞

家族の支えによる食物アレルギーのくしく

柏市立柏第三小学校

五年

なかむら けんと
中村 建斗

ぼくは重い小麦アレルギーがありました。少しでも小麦を食べてしまうと、救急車で運ばれてしまうほどでした。今は、治りようをして小麦が食べられるようになりました。

それはとても大変な治りようでした。約二か月間、病院に入院をして毎日少しずつどんを食べました。食べると、具合が悪くなるのでとてもいやでした。そんな時お母さんがずつとそばにいて、支えてくれました。

「辛いけど、がんばればみんなと同じ好きな物をたくさん食べれるよ。」とお母さんに言われ続けたので、ぼくはがんばれました。

退院してからも家で治りようを続け、三年後ついにアレルギーが治りました。

あらためて、家族の支えがあったからこそここまで来れたと思います。とても感謝をしているけど、ぼくはまだそのお返しができいていません。家族が困った時には、今度はぼくが家族を支えてあげたいです。

ジェイコム賞

変わらないもの

柏市立柏第一小学校

五年

宇波 咲良 うなみ さくら

私はよく父と二人でキャンプに行っています。もう小学五年生なのに父と二人でキャンプなんて、はずかしい気もするけれど、私は父と行くキャンプが大好きです。

いつもはあまり父と話をしない私も、キャンプに行くとき色々な話をします。勉強の話、学校の話、好きな本の話。父も、ニュースの話やキャンプ道具などの話してくれます。外でたき火をしながら二人で食事をする時間も、私は大好きです。

こうして父と一緒にすごすうちに、私は気付きました。父が、私の事をとても大切にしてくれているということ。汗まみれになりながら準備してくれたり、寒くないかと心配そうに聞いてくれたり。そんな父のやさしい愛情にふれると、胸に温かい物が広がっていきます。ふだんあまり話さなくても、今までと何も変わらない家族なんだ、この絆は絶対に無くなる事のない特別な物なんだと感じました。この家族に生まれてきて、私はとても幸せです。

麗澤大学賞

口うるさいおばあちゃん

我孫子市立布佐小学校

五年

よしだ しゅんたろう
吉田 粹太稜

おばあちゃんはいつも自分の都合が悪くなると、ぼくに文句を言ってくる。ぼくがするべき事をちゃんとしている時でも、「早くやりなさい。」としつこく何度も言ってくる。

勉強の時は「早くやりなさい。」自由時間には「勉強をやりなさい。」と命令してくれる。朝食の時なんかご飯を食べているのに、「だらだらしてないで早く食べなさい。」と言ってくる。

そんなおばあちゃんがつ然亡くなった。いきなりたおれて、救急車で運ばれた後、すぐに亡くなった。その事を聞いた時、頭が真っ白になった。でもしゅん文句を言われなくてすむと思った。

亡くなった次の日、いわ感を感じた。いつもの日常が変わってしまったのだ。前日まで文句を言われなくてすむと思っていたのに今はすごく悲しい。その日は勉強が進まなかった。

もしおばあちゃんが生きていたら、いっぱい口うるさく文句を言っほしい。なぜならそれがぼくの日常だったからだ。

モラロジー道徳教育財団賞

私の背中をおしてくれた言葉

流山市立八木北小学校

五年

かわしま
しおり
川島 汐織

私には野田に住んでいるおじいちゃんとおばあちゃんがいます。おじいちゃんは昨年病気で亡くなってしまい、もう会えないと思うととても悲しく辛かったです。おじいちゃんは私が野田の家に遊びに行く度に「大きくなったね。」と喜んでくれて、私が頑張っている事や学校での話をするといつも、「汐織ちゃんは努力家だね。」

と何度もほめてくれました。

ある時、英語のスピーチコンテストの練習をしていて、どうしても点数がのびないことがありました。何日やっても上手くいきませんでした。そんな時、おじいちゃんの「努力家だね。」という言葉と優しい声が頭にうかびました。「よし！ もっとやってみよう。」と思い、録音の発音をよく聞き直したり、メモをとりベストをつくすことができました。おじいちゃんのその言葉は前に進む気持ちを持たせてくれ、あきらめない事が大事だと気づかせてくれました。それが私の忘れられない言葉です。

家族と命

流山市立長崎小学校

五年

石黒いしぐろ 彩花あやか

私は、家族のことを命だと思っている。だつて家族がいなきゃ今この場にいることも、なやみを相談することもできなかったから。お母さんやお父さんは、いつも私のことを心配しているし、こわくおこつたりする。でも、それはきつと意味があると思う。

どんな意味かつていうと、心配することは、私のことをつーつと思つて心配しているから。おこつたりするときは、それなりのことをしてしまつたときだからこそおこつて、大人になつても同じことをしないようにしてるんじゃないかって。こう考えてみると、とつても「ありがとう。」と思う。だからこそ家族と命は、一緒と思う。

おばあちゃん、おじいちゃん、お母さん、お父さん、お兄ちゃんにこのことは言つたことがない。同じように、お母さん達もそう思っているかもしれない。これから、このことを言うときがいつかくると思う。そのときはいつくるだろうか。

私のおばあちゃん

野田市立北部小学校

五年

磯部いそべ 楓朱ふうか

私の大切な人は私のおばあちゃんであり、お母さんのお母さんです。いつも忙しかつたお母さんの代わりに保育園のお迎えに来てくれたり、熱がでた時に会いに来て、看病してくれました。おばあちゃんはとてもやさしくて、私が泣くと「泣かないの。」と言つて涙をふいてくれました。

おばあちゃんが入院した時、コロナで病院に行けなかつたので、手紙を書いてわたししました。そんな大好きだつたおばあちゃんが、先月に亡くなりました。初めてそのことを聞いた時は、とても悲しくて泣いてしまいました。その時にお母さんが、「いつもみんなのことを見ているよ。」と言つていたので安心しました。

いっしょに旅行に行つたり、買い物に行つたり、家に泊まりに行つたり、遊んだり色々なことをしました。今は空にいて会えないけど、私はおばあちゃんがずっと大好きです。

当たり前前の幸せ

松戸市立松ヶ丘小学校 五年 梅木 希夢 うめき りむ

私のおじいちゃんとおばあちゃんは九州に住んでいます。新型コロナウイルスの關係で約二年程会っていません。もし今、会いに行つて自分達がコロナにかかっていた場合、おじいちゃん達に迷惑がかかる可能性があるからです。お盆とお正月には毎年会いに行つていたのに…。今までの当たり前前の事が当たり前じゃなくなり、辛かつたけど私まんしました。時々テレビ電話でお話しをしました。「大きくなつたね。」と私の成長を喜んでくれました。そんな会えない日が続く中、二月におじいちゃんが亡くなりました。

「さようなら」を言えないまま…。「ありがとう」も伝えられないまま…。亡くなつた悲しさと、会いに行けなかつた悔しさと胸が張りさけそうになりました。私は大好きなおじいちゃんが亡くなって、改めて家族の大切さを感じました。これからも日々の「当たり前前の幸せ」を忘れてはいけません。おじいちゃんが教えてくれているような気がしました。

リベンジ

柏市立松葉第一小学校 五年 江原 美晴 えはら みはる

「本当にそれでいいの？ 自分の気持ちをちゃんと伝えないと、後かいするよ。」

音楽発表会のピアノばんそうオーディションに落ちて泣きそうになつた私の顔を見て、お母さんが言った。今日のオーディションは一曲目のばんそうで二曲目のばんそう者はまだ決まっていな。だれもひける人がいないからCDのばんそうにすると先生が言つていた。

「まだチャンスがあるかもしれない…。」

私は音楽室まで走つた。そしてがんばつて自分の気持ちを先生につたえた。

「先生、もう一度チャンスをください。」

顔を上げると、先生は優しくうなずいた。私は毎日一生けん命練習して一週間後のオーディションに合かくした。

あきらめかけたピアノばんそう。テンポが速くてむずかしかつたけれど、自信を持つてひけた。あの時お母さんの言葉がなかつたら、このやりがいは感じられなかつたかもしれない。

私のお父さん

鎌ヶ谷市立五本松小学校

五年

おた 太田
えれな 愛怜菜

私のお父さんは、休みの日にボールや縄跳び、トランプなどでたくさん遊んでくれて、とてもやさしいので、大好きです。そんなお父さんが、去年九月に海外へ転きんになりました。転きんの事を聞いた時、私はおどろき、とても悲しい気持ちになりました。

そして今年四月に七か月ぶりにお父さんが兄の入学式に出席するために海外から一時帰国しました。久しぶりに会えてとてもうれしかったです。庭でバーベキューをしたり、色々なところへ出かけて楽しい思い出をたくさん作る事が出来ました。

また海外へ帰ってしまったので、さびしくなりましたが、お父さんは「家族とはなれていてもさびしいけれど、家族がいるから仕事をがんばれるのだ。」と教えてくれました。家族のために、さびしくてがんばってくれているのだと思います。私たちのために仕事をがんばってくれているので、私も色々な事に挑戦してがんばろうという気持ちになりました。

心を一つに

流山市立八木北小学校

五年

おたき 大瀧
ゆうと 友翔

去年の夏に妹が入院した。妹と付きそいをするお母さんと別れる時、すごくさみしかった。お父さんも仕事だったので、ぼくはおじいちゃんの家に泊まった。

手術の前日、ぼくはおじいちゃんとおばあちゃんと成田山にお参りに行った。そこでぼくは、妹の手術が無事に終わりますように、早く家に帰ってみんなで楽しく遊べますようにと、心から願った。

お参りに行った後に、成田名物のうなぎを食べに行った。とてもおいしかった。

その次の日、お母さんから妹の手術が上手くいったと電話があった。ぼくは、しっかりお参りしてよかったと、すごく思った。

妹が退院する日、早く会いたくてずっとわくわくしていた。三日ぐらい会っていないだけに久々に会った気がした。その時、家族みんなが心を一つにしたから大変な事をのりこえられたんだと思った。今年の夏は、成田名物のうなぎを家族みんなで食べたい。

家族の笑顔

柏市立光ヶ丘小学校 五年

おかだ 岡田 ひより 松依

わたしは、家族の笑顔にいつも助けられてきました。悲しいことやおちこんだとき、家族の笑顔を見るといやなことなんてすぐにわすれていっしょに笑います。

家族がいるから毎日楽しいです。笑えるって最高に幸せでうれしいことだと思います。

この前、もうおもしろくてなみだがでかけるくらい笑いました。その日の夜は、みんな思い出すたびに大笑して、おなががいたくなるぐらいでした。ともうれしくて、楽しい時間が流れた日でした。こんなふうに幸せな時間はこれからもずっと続いて、作っていききたいなあとかから思った日でした。

こんな思い出から、「笑顔って幸せな時間をつくってくれるんだな。」と思いました。うれしいとき、楽しいときはいつも笑っています。幸せも感じます。笑顔は幸せの時が作れます。

お父さん、お母さん、弟たち、これからも笑顔と幸せな時間をいっぱいつくろうね。

私は小さいお母さん

松戸市立松ヶ丘小学校 五年

おくむら 奥村 みさき 美咲

私には三才ともうすぐ二才の妹がいます。私は妹達をおふろに入れてあげたり、おままごとで赤ちゃん役をしたり、だっこしたりおんぶしたりして面どうを見ています。ですが私には一つだけ出来ない事があります。それはおむつ替えです。理由は小さいのと、にげまわってつかまえないからです。

妹達の面どうを見る事は楽しい事よりつらい事のほうが多いです。私にも妹達のような時があつたんだなと思いました。

小さいお母さんとして一番活やくするのは病院の付きそいです。お母さんがお金を払っている時や、先生の話を聞いている時に、妹達を面白くして泣きやませたり、本を読んで待ちます。その時にかんごしさん達から

「小さいお母さんだね、すごいね。」と言ってもらえて、うれしかったことがあります。

小さいお母さん活動は、時々お母さんからごほうびがもらえて達成感があります。

これからも妹達と仲よくしていきたいです。

行ってきます

鎌ヶ谷市立西部小学校 五年 小倉 美柚 おぐら みゆ

私の家では決まり事があります。出かける時は必ず家族の顔を見て、元気に「行ってきます。」と言わなくてはけません。ねぼうして時間がなくて急いでいても、ねむくても、ケンカしていてもです。

もしももしも、もしかしたら、家族と最後に目を見て話した言葉になるかもしれないからって言われました。そんなのありえないし、大げさだと思っけど、私は東日本大しん災の年に産まれました。もしも私が妹や両親に会えなくなったらとても悲しいし、最後に話した言葉が思い出せないとか、ふきげんに顔も見ないで「行ってきます。」だったら、最後の思い出がさみしいです。「行ってきます。」のあいさつは自分のためじゃなくて、家族のためにするんだなと思いました。

私はこれから大きくなっても、元気良く、「行ってきます！」と言います。そして、帰ってきたら元気良く「ただいま！」と言います。

遠い家族

柏市立十余二小学校 五年 楮山 萌夢 かじやま もえむ

車で一時間くらいはなれた場所にお母さんの方のおばあちゃん達はいる。月に一度会うくらいで私はおばあちゃん達に会える日が大好きだ。その日は時間があつという間にすぎてしまうように感じた。小さいころは帰りの時間になると、わがままをたくさん言っていたのを今でも覚えてる。

その時から成長したが、変わらずおばあちゃん達は大好きだ。帰りの車の中で家族にばれないようにおちこんでいたりしている。あとから考えるとまた会えると思うが、正直に言うとおばあちゃん達に会えないかもしれない。だから私はおばあちゃん達に会える日の時間は大好きだが、会えない時間になるのが大きい。一人で勝手にいろいろなことを考えてしまうからだ。

今私の命があるのは、おばあちゃん達のおかげ。いや、もっと前の家族のおかげなのかもしれない。私の命は遠い家族からもらったものだ。これからはもっともっと家族を大切に、家族のいい所をたくさん見つけていきたい。

妹といっしょに

柏市立松葉第一小学校 五年 角谷 かどや 政太郎 せいたろう

「ピッカピッカの一年生！」妹は四月に小学校に入学した。四才年下だ。ほくの役目は、妹の登下校の見守りだ。これは、妹が小学校に入学する前から決めていた。晴れでも雨でも、元氣いっぱい走ってどこかへ行ってしまふ。最初は大変で、学校に着いたころにはヘトヘトだったが、最近は平和に学校に行けている。

ほくの父も母も、朝早くから夜遅くまで働いていて、毎日、

「ありがとう。助かるよ。」

と言われているのでやりがいがある。

ほんと妹は毎日けんかする。でも、けんかの後、たよってくれそうれしくて、妹が可愛いと思える。

ほくはこれからも妹の登下校の見守りや世話を続けたいと思う。そして家族の一員として、長男として、「ありがとう。」と思ってもらえるよう、前へ進んでいこうと思う。

ありがとう

柏市立中原小学校 五年 川上 かわかみ 楓花 ふうか

わたしは昔、学校に行けなくなりました。お母さんは仕事を休んで、お父さんはちこくをしてわたしたを学校へつれて行きました。少しずつほ健室にいられるようになり、いつもお母さんの帰りを待っていました。ほ健室にいと、友達がむかえに来てくれると学校に行くときと大じよう夫になります。でも、朝になると学校に行きたくなくなります。お母さんが買ってくれたぬいぐるみで、ねる前にお母さんと弟といっしょにあそびました。ふとんに入ってねむる時いつもお母さんが、

「大じよう夫だよ。教室にいつてみれば大じよう夫なんだからさ。」

と、勇気づけてくれました。学校に行く前に、お母さんが手作りのお守りをわたしてくれました。今も大切に持っています。三年生には少しずつ学校に行けるようになりました。今は学校が楽しいです。家族がいると心が温まります。家族がいてくれてよかったです。

五月人形に込められた思い

柏市立柏第三小学校 五年 北村 陽向 きたむら ひなた

僕の家の五月人形はひいおじいちゃんがお父さんに買ったものです。

ひいおじいちゃんはお父さんが生まれた年に年間お金をためて買いました。

毎年四月の中旬にお父さんとお母さんが五月人形を飾ります。人形は、弓矢を持ち凛々しい姿をしています。見ていると今にも動き出しそうです。

僕がひいおじいちゃんについて知っていることは、戦争に行き帰ってきたこと、大正七年生まれのこと、社交ダンスが得意だったことです。ほくの名前は、ひいおじいちゃんが朝日に向かって拜んでいる姿からもらいました。会ったことは無くても、いつも見守っていてくれるような気持ちになりました。

ひいおじいちゃんの思いが詰まった五月人形をいつまでも大切にしていきたいです。

今日は五月五日なので、柏餅を作りました。家族みんなで作った柏餅は、甘いあんこと軟らかい餅がまじり合って美味しかったです。

私と姉

野田市立南部小学校 五年 境 颯斗 さかい はやと

私には、とても仲の良い姉がいます。姉は私と八才はなれていますが、小さい時から私の事をとても大事にして、いっぱい遊んでくれます。親におこられた時やいやな事があつた時は、いっぱい話を聞いてなぐさめてくれます。運動会の前には走り方も教えてくれます。姉がいて本当に良かったです。

その姉が、大学に入って一人ぐらしをする事になり、今の家から出ていくことになりました。私はその話を聞いた時に、とても悲しくさびしくなりました。父は「姉が出ていったらその部屋を使っているよ。」と言いましたが、私は自分の部屋なんていらないから姉にずっと家にいてほしかったです。家から出ていく日は、悲しくて泣いてしまいました。姉も泣いていました。

きよりははなれてしまいましたが、今でも姉は電話もくれるし、メールもくれるので、心のきよりはこれまでと変わらないと感じています。姉のような姉弟がいて良かったです。

家族への感しや

松江市立柿ノ木台小学校 五年 佐藤 瑠奈さとう るな

「ありがとう。」

この言葉は私が一番好きな言葉です。今まで何回家族にありがとうと言われたか、何回ありがとうと言ったか、数えきれないほどあると思います。私はその中でも

「うまれてきてくれてありがとう。」

という言葉がものすごく心に残っていて、とてもうれしかった言葉です。私は「この家族になれてしあわせだな、うまれてよかったな。」と思いました。これがありがとうという言葉が好きになったきっかけです。ありがとうと言われると、言われた人がやってよかったな、またやってあげようという気持ちになります。また、言った人も言われた人も言っよかったな、ほっとするなという気持ちになります。なので、私も家族だけではなく友だちや先生、地いきの人たちなどでささえてくれてる人に、

「ありがとう。」

とこれからも伝えていきたいと思っています。

おばあちゃんの家

柏市立柏第三小学校 五年 塩澤 琉璃しおざわ るり

おばあちゃんの家には毎年ツバメが来る。今年もツバメがやって来た。ツバメは毎年遠く南の方の国から子育てをするために日本にやって来る。

ツバメは屋根の角に巣を作っている。中に一羽ツバメがいて口に土のような物をくわえて巣にくっつけていた。土のような物がなくなつて飛びたつとすぐにもう一羽が土のような物をくわえてもどつて来た。交ごにその作業をしているのを見て、私はがんばっていてすごいな、二羽にとつて子どもがとつても大切なんだな、もつとがんばってほしいな、とすぐ応援したくなった。

私がおばあちゃんの家に行っている時、ツバメはまだたまごを産んでいなくて子どもを見る事は出来なくて、残念だった。だから来年は子どものがたを見てみたい、そう思った。次こそはおばあちゃんがママを、ママが私を育てた様に、すくすくと育つツバメのヒナのすがたを楽しみにしている。

お母さんの愛情に気づいた時

野田市立北部小学校 五年 杉浦 結菜 すげつら ゆま

私はようち園の時、登園したくない日が時々ありました。ある日、「行きたくない」と言うと、お母さんは「じゃあお兄ちゃんの送りだけ行こう。」と言つて、私のように園のリュックを持って家を出しました。すると「私服だけごめんさい。」と先生に言つて、私をバスに乗せたのです。私は「いやだ。」と泣きながらようち園に行きました。でも行つてみたら楽しくて、きげん良く帰ってきました。

数年後、お母さんに「どうしてあの時バスに乗せたの？」と聞くと「休ませたら休むくせがついちやうから。」と言いました。その時私は、休むくせがどういふものなのか分からなかったけれど、お母さんは私のことを思つてバスに乗せてくれたことが分かりました。そのしゅんかんはいやだと思ふこともお母さんは、長い目で見て私がより良い方向に進めるように、考えてくれてるのだなと思つたのです。数年たつてお母さんの愛情が分かりました。

大切な弟

柏市立松葉第一小学校 五年 鈴木 真啓 すずき まひろ

ぼくには二つ下の弟がいます。けんかしても気が付いたら二人仲良く遊んでいます。弟と遊んでいると、とても楽しいです。

弟はたまにわからないことを言います。お父さんとお母さんは何を言っているのかよくわかっていないけど、ぼくにはわかります。それはたぶんきずながあるからだと思います。きずなとは、たち切ることのできない人と人との結びつきという意味があります。つまりぼくと弟にはなにか見えない糸があるのかも知れません。

弟が生まれてから一日一日がとても楽しいです。家で追いかけてっこをしたり、仲良くゲームをしたり、テレビを見たりして日々楽しい生活をおくっています。でもいつもぼくがちよっかいをだしてけんかになっちゃいます。それはかまつてほしいからです。

もしぼくに弟がいなかったら毎日が楽しくなかったと思います。そんなこの世界に一人しかいない大切な弟とこれからもけんかもするかもしれないけど、大事にしたいです。

家族と私

野田市立南部小学校

五年

鈴木 すずき

結実 ゆみ

私は、家族の「好き」より「いや」の方が多い気がします。でもふとしたしゅん間、「こういう所家族だな。」と思えることがあります。例えば、一人がカラオケに行きたいと言っても、けつきよくは、ボウリングに行くということです。カラオケに行きたいと言った人もなんだかんだ楽しそうです。(ほっとします)

私の両親はとも働きで、母は八時位に帰って来ます。それより早い時とおそい時もあります。父は日によって時間がちがいます。兄弟で、洗い物と米炊きを分たんしてやります。父も母もいつもつかれて帰ってくるので、父の日、母の日、そしてたんじょう日は、気持ちよこめて手紙を書きたいと思います。物をわたしても手紙をわたしてもどちらでもいい、大切なのは気持ちがかもっているかどうかだと思います。家族とは、何があっても何人いても、一人一人の心がつながっている人達のことをいうと思います。これからもこんな私ですが、よろしくお願ひします。

無くなってから気づいたこと

松戸市立小金小学校

五年

高橋 たかはし

すず

平成二十九年、病院で私のおばあちゃんが亡くなりました。そのころの私は年長で、まだおばあちゃんが亡くなったことをあまり理解していませんでした。まわりの人は泣いていて、すこしだけさびしい気持ちになりました。そして悲しい気持ちになりました。

それから、毎年おはかまいりに行き、少しずつ死を知っていきました。

今ではもう小学五年生になり、思い返すことが多くなったあの気持ち。おばあちゃんの死で気がついたことがあります。それは、「大切なものは、無くなってからわかる。」ということでした。でも、それを知っていても、周りの人の大切さに気がつけないときがあります。そのときは、おばあちゃんが亡くなったことで気がついた、あの気持ちや感覚を思いだして、この人生を生きていきます。

もう会えないけれど、毎日、私のことを見守ってくれている気がします。おばあちゃんとの思い出を大事に生きていきたいです。

特別な日々

流山市立長崎小学校

五年

高橋 たかはし

美羽 みう

私は毎日朝起きたらお母さんにハグをされる。でも私は赤ちゃんだと思われたくないので必死にはなれる。お母さんは好きだけど、バカにされたくない気持ちがあつてどうしてもはなれてしまう。

ある日、お母さんとケンカをしてしまった次の日に、いつもはするハグをしてくれなかった。それはそれで悲しいのであやまって一分間ぐらいのハグをした。一週間後ぐらいいお母さんから、

「美羽は特別なんだよ。ママは美羽がいるから幸せなんだよ。特別に思われず、ハグや料理をしてもられない子もいるんだから、一つ一つを大事にして、あたりまえだと思わないで。」と言われた。ハグはあたりまえだと思っていたけど、これからはハグから伝わる一秒一秒を大切にしていこうと思えました。

私は、これからもずっと、親や毎日を大切にしていこうと思いません。特別な子の子の親にこの文を見てもらって世界のみなが特別になってほしいです。

私が前に進める理由

松戸市立小金小学校

五年

田口 たぐち

結理 ゆり

私は最近、自分の短所について向き合わなければならぬ出来事がありました。私の短所は、苦手なことや面どうなことから、にげてしまいがちな所です。小さなころから言われていましたが、私はそのことすらにげてしまい、きちんと直せずにいました。

しかし高学年になり、いよいよ短所に向き合わなければならなくなった時、私はつらくて情けなくて泣いてしまいました。母も泣いてしまっていたのが、私にとつてはなによりも悲しいことでした。

しかしこの時、家族は、私の短所はどうして悪いことなのか、ふ段の私の行動でたとえながら、わかりやすく話してくれました。そして、それ以上に、私の長所についてもたくさん気付けてくれました。いやなことを後回しにしない、それだけで私の長所がもつと活きると話してくれました。私のいやなところもいいところも、全部うけとめてくれる家族がいるから前に進めます。ありがとう。

やさしい小づつみ

鎌ヶ谷市立西部小学校 五年

田中 たなか 愛子 あいこ

私は、去年熊本から千葉に引っこして来ました。これまで何度か引っこしをしたけれど、こんなに遠くに来るのは初めてです。初めて千葉に来た時は、とてもきんちようしました。

そんな時、小づつみが届きます。それは、熊本のおじいちゃんおばあちゃんから送られてくるものです。中身は、新せんな食べ物、おじいちゃんを作った愛情のこもった野菜、おばあちゃんのとくいなかわいあいみ物、私の好きなおかしやくだものです。この前はたけのこがたくさん送られてきたので、お母さんとたけのこごはんを作りました。シャキシャキして熊本の味がしていて、とてもおいしかったです。

お母さんから小づつみが届くよと言われたら、とてもうきうきして、いそいで学校から帰ります。届くと、みんなが笑顔になります。

おじいちゃん、おばあちゃんのやさしい小づつみのおかげで、新しい町でも元気にすごしています。

家族のありがたさ

柏市立柏第三小学校 五年

田中 たなか 悠月 ゆうづき

みなさんは、どんな家族がそばにいますか？ お母さん、お父さん、妹や弟などいろいろな人がいます。もし、家族がいなかったら、みなさんはどうしますか？ やはり家族がいないとできないことがたくさんあります。私は、そんな家族のありがたさを考えました。

まず、家族のはげましのありがたさです。みなさんは、先生などに「がんばったね。」と言われるとうれしいでしょう。私は家族のはげましが、自分の力になると思います。「前よりはうまくなつたよ。」などと言われると、「よし!! がんばるぞ!!」ってなります。

次に、生活を支えてくれるありがたさです。みなさんのおこづかいはどこから来ますか？ 勝手にたまってませんよね。そのお金は、おうちの人が働いて得たお金です。おうちの人は、今だけでなく、将来のことも考えているのです。

このように、はげましてくれたり、生活を支えてくれる家族はとてもありがたいです。

お父さんへの感謝の気持ち

柏市立松葉第一小学校 五年 堤^{つみ}理帆^{りほ}

世界中で新型コロナウイルスが流行してしまい、大変な二年間だった。たくさんの方が病気で苦しんだり、ふつうの日常生活が送れなかったり、学校も休校になった事があった。そんな中でも良かったこともある。

コロナ前は、お父さんは東京に通勤しているし、お母さんが用事があると、学校から家に帰っても誰もいないことがあった。でも、リモートワークになったおかげで、私ที่บ้านに帰ると必ずお父さんがいる。真剣な表情で、カタカタとキーボードを打つお父さん。三台のパソコンを使って、同時にリモート会議をするお父さん。会議で使っていた難しい言葉を質問すると、ちよつと困りながらもやさしく教えてくれるお父さん。コロナが無ければ知ることができなかった仕事をしてお父さんの姿だ。世の中や家族のために、こんなにも一生けん命に働いてくれているんだということが分かった。もうすぐ父の日、お父さんが喜んでくれるプレゼントをあげたい！

あたたかい家族

松戸市立小金小学校 五年 飛田^{とびた}來未^{くるみ}

定時の時間になった。もうすぐでお母さんが帰ってくる。そう思うと私はむねがはずんだ。

お母さんはいつも仕事から帰り、つかれた表情をしている。だけれど私が話す時は、中身が入れ変わったかのようにしんけんに話を聞いてくれる。「母親としてはあたり前。」とお母さんは言うけれど、やっぱりすごいと思う。

そんなある日、私がお母さんになやみをうちあげたのは新学期について。私は毎回新学期になると相談していた。お母さんからかえってきた言葉は、「無理に友達を作らないで慣れるまで待てばいい。」たしかにと思った。友達を作るのにせいっぱいだった私には、その考えは無かった。その時、私は家族っていいなと思った。

おこらせたり、泣いたりするけれど、家族にはなんでも話せる。そう思うとやっぱり家族はあたたかいと思った。

自分にできる事

柏市立松葉第一小学校 五年

中西 なかにし 梨緒 りお

二〇一一年、私はお母さんのお腹から元気に生まれました。ですが、二年後お母さんは病気になるまで。病院に行き、それを見ていた私は、早く元気になってほしいと幼いながらも思っていました。そして私は何かできることはないか考えて、お手伝いなどできる事をせいっぱいがんばりました。

その後お母さんは手術をして今では元気になりましたが、私は今でも何かできることはないかと、自分から進んでお手伝いをするようにしています。家族が笑顔ですごせるといふ事はとても大切な事だと思っています。

私の経験から家族以外で私にできる事はないかと考えました。そこで病気などで苦しんでいる人のために、自分のかみの毛を切って寄付する事にしました。私のかみの毛が病気で苦しんでいる人たちを少しでも救える事ができ、そしてその家族が笑顔ですごせたらとても良いなと思います。私はこれからも家族が笑顔ですごせるように、自分にできる事をせいっぱいやろうと思います。

家族から受けつがれたたまご焼き

柏市立柏第三小学校 五年

中野 なかの 咲良 さくら

「このたまご焼きってどうやって作るんだろう。」

私は大好きなお母さんのたまご焼きを食べながら思いました。そのたまご焼きはほんのりあまくて、ふわふわしています。同じたまご焼きが作りたいから、お母さんに作り方を教わってたくさん練習しました。お母さんの味に近づくために、くわしく話を聞いてみると、なんとお母さんはおばあちゃんの味を目指していて、この味はおばあちゃんから受けつがれていたことを知りました。

今はまだお母さんと同じたまご焼きは作れないけど、これからもいっしょにたまご焼きを作っていきたいです。そしてしよう来、私がお母さんになったら私の子供にもこのたまご焼きを食べてもらいたいです。

私たちの家族

鎌ヶ谷市立南部小学校 五年 中野 寧々なかの ねね

「これが、家族のきずななんだなあ。」

と思った時、私の家族の状況は大変でした。

始まりは、四月の末に姉がコロナウイルスに感染したことでした。家族みんなで自宅待機する事になりました。最初は、休めてうれしかったのですが、だんだん父から感染していき、私も含め、家族のほぼ全員が感染してしまつたのです。また、父と母二人が感染してしまつたので、家事をする人がいなくなつてしまいました。なので父が、まだ体の調子が良くないのにも関わらず、私たちの看病をしてくださいました。そして私は、

「父は体調が良くないのにも関わらず、看病をしてくれる。しかも兄弟達は、私たちの心配をしてくれる。とても良い家族だな。これが家族のきずななんだなあ。」

と思ひました。

私は今回の事で、家族のきずなの深さを知りました。そしてこれからも、もっと家族のきずなを深めていきたいです。

わたしの夢

柏市立光ヶ丘小学校 五年 丹羽 茜にわ あかね

わたしのお父さんとお母さんは、レストランをやっています。レストランは、おじいちゃんとおばあちゃんが始めて、お父さんとお母さんがあとをつぎました。お店のある日はいいそがしいので、わたしと弟はとりにある、おじいちゃんの家に行つて宿題をしたりおふるに入つたりご飯を食べたりしてすごします。

お父さんとお母さんは仕事がいそがしくても運動会や授業参観には必ず来てくれます。休みの日には、わたしたちのために、えいが館や遊園地につれて行つてくれます。それがとてもうれしいです。

わたしは、お父さんのお店が大好きです。理由は、お客さんがよるこぶように、お店をいつもピッカピカにそうじをしている事と、お父さんのつくる料理がとてもおいしいからです。なので、わたしも大きくなつたら、お父さんとお母さんの仕事をてつだつて、力になりたいと思います。

家族のはげまし

松戸市立柿ノ木台小学校 五年

橋沼 はしぬま
龍 りゅう

「お母さん、今日はシュート一本入ったよ。」

ぼくはバスケットボールを習っている。帰りの車の中でお母さんに伝えると、とてもよろこんでくれた。ぼくはメンバーの中で一番初心者で、なかなか試合でこうけんできない。うまくいかないことが多くてとてもくやしいので、夕方、近所の公園で自主練習をしている。お父さんはバスやドリブルの練習をいっしょにしてくれたり、アドバイスをしてくれる。弟も習っているスケボーの自主練習となりでしている。おたがいに自分の練習に集中して取り組んで、はげましあっている。バスケットボールの練習はとても大変でやめたいと思う時もあったけれど、お母さん、お父さんが送りむかえをしてくれたり、はげましてくれたりしたので続けることができた。今はとても楽しくて、少しずつチームになじめてきて、パスもたくさんもらえるようになった。

家族はとても大切なそんざいだ。ぼくも家族のために、できることを手伝えたい。

ぼくのお父さん

鎌ヶ谷市立西部小学校 五年

橋本 はしもと
陸翔 りくと

ぼくのお父さんは夜間のトラックドライバーです。お父さんは、ぼくと三さいの妹とお母さんとの生活リズムは逆転しています。ぼくが学校から帰ると、生活リズムが逆だからお父さんはねています。なので、ふだんからあまり会話が来ていません。

ぼくが小さい頃は、お父さんと遊びたくて、「夜間のトラックドライバーなんてやめてしまえばいいのに!!」と何度も思いました。さみしい思いはあるけれど、お父さんの休みの日に一しよに出かけたり、ご飯を食べたり、一しよにねることだけで、今はうれしいです。ぼくはお父さんが仕事へ行く時は必ず、「行つてらっしゃい、気をつけてね。」と伝えます。今こうして楽しく生活できるのも、お父さんのおかげなので感しゃしています。

最近、お父さんが仕事に行く時、妹がさみしがっているの、ぼくが遊んであげようと思います。お父さん、今日も「行つてらっしゃい、気をつけてね。」

わすれられない言葉

柏市立光ヶ丘小学校 五年 林田 悠聖 はやしだ ゆうせい

ぼくのお母さんはぼくが困っているときに話しかけて

「大じょうぶ? 何かあった?」

と言ってくれます。そしてぼくが困ったことを言うと、すぐに相談にのってくれます。おかげで気分が晴れて、楽に生活できます。

あるとき、ぼくは友達にいやなことをされてしまった。その子はぼくの友達で、遊びでやっていただけ、どんどんはげしくなっていました。先生にもお母さんにも話せなくて困っていたら、お母さんにも「どうしたの? 大じょうぶ?」

といい、本当のことを話したら無事解決しました。そしてまたその友達と仲が良くなり、無事その後ぼくはずっとだれにもいやなことをされなくなりました。ぼくはお母さんにとっても感謝しています。お母さんの

「大じょうぶ? 何かあった?」
という言葉でぼくは救われました。

母とくらす時間

柏市立柏第一小学校 五年 藤田 心音 ふじた こころね

「なにかあったら、一一〇番と一一九番してね。」
そういうと、母は突然頭をかかえながらたみにたおれこんだ。夜中もトイレで吐いて苦しそうな音がした。私はそんな母を、息をこらして感じていることしかできなかった。

夜、静かにすいはんきのタイマーをかけながら思った。「もし母がいなくなったらどうすればいいんだろう。」朝、起こしてくれたり、勉強を教えてくださいたりしてくれる母がいなくなったら。私は一人になってしまう。背筋がゾツとした。シヨックで立ち直れないと思った。私は涙をこらえながら布団の中に入った。

翌朝、目を覚ますと母は卵焼きを作っていた。元気がなったんだ! 本当に良かった! うれしさと安心が体中に同時に広がっていた。

「母がいなくなったらどうしよう。」と初めて深く考えた夜。とてもつらかった。これからは、母とくらす時間をもっと大切にしようと思う。さらに「ずっと元気で長いきをしてくれたらいいな。」と思ったのである。

家族のつながり

野田市立南部小学校

五年

保登田 ほとだ

眺英 こうえい

ぼくは父と母と三人家族です。兄弟はいません。でも、ぼくには見えない兄弟がいます。生まれてこれなかった兄や姉がいたと母から聞いて知りました。そして十年前、ゆいいつ生まれてくれたのがぼくでした。だから見えない兄や姉のためにも、ぼくは命を大切にしていこうと思います。いつも近くにいると信じているから、さびしくありません。

もつと強い味方もいます。となりの家に住んでいるおばあちゃんです。楽しい時も悲しい時も、ちゃんと話を聞いてくれます。おばあちゃんは料理も上手で、ぼくが一番大好きな「塩むすび」をいつもにぎってくれます。母のものよりおいしいので食べたくなると走って行きます。今度はぼくが重い物を持つたり、草かりとかのお手伝いをして、おばあちゃんを助けていこうと思います。

天国のおじいちゃんも見ていてくれるかな。見えないけれど、みんなつながってるよね。

私の命

野田市立山崎小学校

五年

本間 ほんま

菜南子 ななこ

私は先日、私がおなかの中にいた時の写真を見せてもらいました。それはとても小さくて本当にこれが自分なのかと驚きました。お母さんは、私がおなかの中にいる感想を書いています。私はそれを見ると涙が出てきそうになりました。お母さんが私のことをどれだけ大切に思っているか分かったからです。感想に「赤ちゃんが」という言葉がありました。「菜南子」という名前をつけてもらって、今はとてもほこりに思っています。

私が三月十一日の大震災後に生まれたので、感想に「地震はびっくりしたよね。」とも書いてありました。毎年、三月十一日が来るたび、私は震災で亡くなった人達の分まで一生けん命生きようと思うのです。

私たちは、お母さんのおなかで大切に育てられ、無事に産まれて今があります。そのことを考えたら命を大切にしなければいけないと改めて思いました。

「いいね！」は魔法の言葉

柏市立松葉第一小学校 五年 松枝 まつえだ 怜 れい

「いいね！ 大丈夫だよ。」

毎日表情豊かにぼくの話の聞いてくれる両親。「正直これのどこが大丈夫なのだろうか。」とひねくれて考えてしまう事もある。

しかし、ぼくが素直ではない態度をとってしまった時でも、母との空間はやっぱり心地が良く、父も

「新たな引き出しができたね。」と笑顔。自然と心が充電されているのがわかる。

両親はいつでもぼくと同じ感情で笑ったり、悩んだり大切に考えながら聞いてくれる。

「いいね！」と後押ししてくれる。

きつと安心しているからこそ、毎日好きなだけ話ができるのだと思う。

感謝しています！

元気になる「いいね！」という言葉の魔法。ぼくも優しい気持ちで声をかけてあげられる人になりたいです。

家族の大切さ

柏市立柏第三小学校 五年 二浦 みうら 美葵 みぎ

今、ロシアとウクライナが戦争をしています。私は今まで、戦争を見たことがありませんでしたが、今回、初めて、本物の映像で戦争がどういふものなのかを知りました。

戦争は人間と人間が殺し合う残酷な行為だと思いました。自分にも家族がいるように敵国の兵士にも家族がいる。家族が殺されたら、凄く悲しいはずなのに、戦争となると、殺してしまうのはとても怖い事だと思いました。

私が自分の大切な家族が殺されたら、とても悲しいし、許せません。私は自分の家族を失うという怖さを体けんしたことがあります。これは、すごく恵まれた環境で育っている事なんだと思いました。

今回のウクライナとロシアの戦争を見て、家族と一緒にいられる事はあたりまえの事ではなく、幸せな事だと感じました。また、家族という存在の大切さをとても強く感じました。

世界中の家族がハッピーで、いつも笑っていられるようになってほしいと思いました。

少しずつ前へ

松戸市立柿ノ木台小学校 五年

武藤 むとう 結香 ゆうか

「もういやっ」

と私はさげんだ。ピアノの練習の課題がたくさんあっていやになってしまったのだ。

「もう少しで終わるでしょう。」

とお母さんに言われながらも、いつもイライラしておこってしまった。私は練習時間が終わるとなるとなくいやな気持ちのがのこり、自分のお母さんにとった態度が気になっていた。けれど、なかなかおん返しをすることができなかった。私はこまっていた。自分の伝えたいという気持ちも、勇気がたりず、伝えることができなかった。

私は、まず何かやってみることにした。そうじの手伝いをしたり、せんとく物をほしてみたり。やってみるとむずかしくて最初は失敗もした。でも、自分にもお母さんの手伝いをすることができてうれしく思った。私は、今では少し前にはじめの一步をふみだした気がした。もつと前に進みたい。そんな気持ちわすれず、私は今日も進み続ける。

家族への感謝の気持ち

松戸市立柿ノ木台小学校 五年

山本 やまもと 翠 みどり

私の母は仕事をがんばっています。いつも朝早くから、夜おそくまで働いています。おそい時は、夜十時をすぎること多くあります。毎日そんなに働いて大丈夫かなと思います。でも、家族のためにがんばっているのです、働くのをやめてとは言えませんが、その分、私はすこしでも母のやる事がへって、樂できるようなしたいと思います。そうすれば母はよろこんでくれて、仕事のつかれもすこしはへるんじゃないかなと思いました。

例えば、おこられないようにしたり、お手伝いをしたりしたいです。お手伝いの前に、自分のことを完ペキにできるようにしたいです。またもう一つ、お手伝いの前にやらなきゃいけないことがあります。それは私の妹のお世話です。お世話とは、妹のお手本になって良い方向へ導くことです。まずはその二つをがんばって、できたら、お手伝いのだん階になるかなと思っています。これからがんばります。

ほじほじ、あつたかい

柏市立光ヶ丘小学校 五年 吉澤 詩子
よしざわ うたこ

家に帰ると、おかえりといってくれる人がいる。勉強を教えてくれる人がいる。その人たちはまた料理を作ってくれたり、お金をかせいで生活を支えてくれたりもする。わたしは、家族がいてくれて幸せだと思う。

もしも家族がいてくれなかったらと思うと、せすじが寒くなる。

お金がないと、勉強ができない。生きていけない。食べる術もわからない。

でも、家族がいるからせつ対にそんなことは起こらない。

家族がいるから、みんなみんな大人になることができる。生きていける。

そして子どもが大人になって、そしてその子どもも大人になって、そういうふうに生き物はいのちをつないでいると思うと、生き物ってすばらしいと思う。

また、いのちをつないでいく以外にも、家族は色々助けてくれたり、温かいそんざいだ。

そう考えると家族はほこほこ、あつたかい。

団結した日

柏市立柏第三小学校 五年 脇山 晴
わきやま はる

私は四人兄弟です。二つ上の兄、三つ下の弟、七つ下の弟がいます。いつもゲームやおかしの取り合いでケンカしています。

お母さんの体調が悪かった日、めずらしく私たち兄弟は団結しました。兄は夜ご飯のカレーライスを作りました。私はせんたく物をかたづけたり、お皿を洗ったりしました。三つ下の弟は、一番下の弟のお世話担当です。いつもは、取り合うゲームもゆずり合って仲良く遊んでいました。

お母さんが、カレーライスを食べて、

「おいしいよ。ありがとう。」

と言ってくれて、みんなほっとした顔になりました。お父さんも仕事から急いで帰ってきて、第二人をおふろに入れてくれました。

いつもはケンカばかりしてしまう私たちだけど、やる時はやれることが分かり、じまんでできる兄弟だと感じました。これからもピンチの時、力を合わせることに出来る家族でいたいです。

募集要項

応募資格

東葛6市（柏・我孫子・鎌ヶ谷・流山・野田・松戸）の小学校に通う5年生の児童。

応募方法

下のチラシの裏の原稿用紙に、400字以内におさまるように書いてください。
原稿は、皆さんが通う小学校で集めます。



応募期間

令和4年5月6日(金)～6月30日(木)

賞

- ①入賞 8点 賞状と副賞
- ②入選 42点 賞状と副賞

発表・表彰

- ①令和4年10月29日(出入賞作品の発表と表彰式。
- ②入選者への賞状は各学校へお届けします。
- ①応募作品は未発表で日本語のものに限ります。

その他

- ②入賞・入選作品に関する著作権は主催者に帰属します。
- ③入賞・入選の作品は主催者発行の『エッセイ集』、ホームページ、協賛企業でのパネル展示等にて紹介します。
- ④作品中のプライバシー、個人情報に関して主催者は一切責任を負いません。
- ⑤入賞・入選作品を公表する際の表記統一など主催者の判断で修正させていただくことがあります。

「家族のきずな」エッセイ集

令和4年10月29日発行(非売品)

発行 公益財団法人
モラロジー道德教育財団

〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号

☎04-7173-3111(代)

<https://www.moralogy.jp/>

主催者の許可なく転載を禁止します。



【協賛企業・団体】

50音順・敬称略

- | | |
|-------------|---------------------|
| 青木建設(株) | テラスモール松戸 |
| 家の光製本梱包(株) | 東葛毎日新聞社 |
| イオンモール柏 | 流山モラロジー事務所 |
| (株)岩田印刷 | 日本フィールドシステム(株) 関東支店 |
| (株)エヌ・ワイ・ピー | (有)沼田電業 |
| 柏市民新聞社 | (株)花園サービス |
| (株)コミニケ出版 | (有)廣瀬造園 |
| (有)三雄水産 | (株)星広告 |
| シナノ印刷(株) | 松戸モラロジー事務所 |
| ジャトー(株) | (有)丸勝電気 |
| (有)ジング | (有)水代建材店 |
| すみ建具店 | (株)三菱UFJ銀行 |
| セブンパークアリオ柏 | 三菱UFJモルガンスタンレー証券(株) |
| (株)高島屋 柏店 | 薬膳料理 龍桂林 |
| 武田建装(株) | 横山印刷(株) |
| (有)綱木工業 | リフレッシュプラザ柏 |

このエッセイ集は皆様からのご寄付を活用して作成しています。
本事業に賛同いただける方は右のHPよりご寄付願います。

